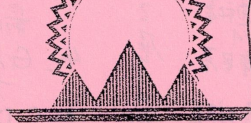


2017.12月の書籍ベスト5

- 君たちはどう生きるか 吉野源三郎著 マンツウス
- ぼくの伯父さん 伊丹十三著 つばしほ
- ジャック月記 木村かほり著 風壽社
- 君たちはどう生きるか 吉野源三郎著 若波文庫
- 光の犬 木村かほり著 新潮社
- こうやって考える 外山滋比呂著 PHP研

山陽堂だより 102

2018年1月睦月



山陽堂書店
03-3401-4309

あけましておめでとう
ございます。

昨年一年もお客様を
はじめ、おかげさまで
支えられ本屋を続ける
ことができまして。

創業127年を迎える今年もこの青山の地で
「本屋」を続けるための試行錯誤を続けて
いきたいと思います。
今年もどうぞよろしくお願いいたします。
山陽堂一同

2018年1月15日(月) - 27日(土)

庄野トホ『北極サカス』原画展
月-金 11時-19時 土 11時-17時

念今本『北極サカス』(講談社刊1500円+税)発売を記念して、
念今本の原画を展示いたします。また、今展示のために
描き下しました原画も展示・販売いたします。
ご高覧いただけます幸いです。

木村かほりのジャック月記展のキャリートより、
只今、父親の介護中です。ジャックさんは家族の日常は、まるで
私と父のようで、クスッと笑ってしまいました。月々の疲れは、コッパの用
に出会えました。ありがとうございます。

1月休業日
お知らせ
・1/3(土)
・日・祝

今月のこぼし
とにかよびおこしい本のページを
めくるときには、裏にある読書が
始まる。一読後、すぐに理解
できる必要はない。本は
読者の体内深く、沈潜。
蓄積する。そしてある時、出来事
や他の本との遭遇が触媒とな
り、閃光がはじく。
時に、そこにあることと不伏
本、ほつとと鎖を。福島聡
一岩波「図書」副都出版

2017書籍売上ベスト10

- 今日の人生 益田ミチヲ著 ミマ社
- 馬橋玄同長殺し第1部 村上春樹著
- "第1部" 新潮社
- 空をつくる 村井恒著 小丸書房
- 「考える人」は本と読む 河野通和著 KADOKAWA
- ボールのようにはじまる 糸井重良著 ぽんぽん
- 君たちはどう生きるか 吉野源三郎著 マンツウス
- 言葉はこうして生きた 河野通和著 ミマ社
- 悲しみの秘義 若松葉輔著 幻冬舎
- 火花 又吉直樹著 又吉春秋

は、ギャラリーで展示のあった関連書籍です。

2017雑誌売上ベスト10

- 考える人 最終号 新潮社
- SPUR 11月号 集英社
- SPUR 9月号 特別付録 宇野浩二 最高のお宝
- GINZA 7月号 マジック
- SPUR 6月号 絶対買わない
- SPUR 7月号 ニハシロ
- 家庭画報 3月号 京都の味
- SPUR 3月号 私生活
- GINZA 5月号 銀座
- SPUR 1月号 キャン

<1月喫茶営業日>

- 1月15日(月) 15~19時
- 1月18日(木) 15~19時
- 1月20日(土) 13~17時
- 1月25日(木) 15~19時
- 1月27日(土) 13~17時

喫茶営業しています。

山陽堂書店の5世代めあひりか。



ネットショップで珈琲を淹れさせていただきます。
お時間かまいません。
ぜひお立ち寄りください。

10月末から時々お店のレジに立つようになりました。

ご存知の方もいるかと思いますが、山陽堂は家族で本屋を営んでいます。
ただ、単なる家族経営ではないといいますが、言わば「女系家族経営」なのです。
いかほどの女系かという点、山陽堂三代目店主の祖父 和夫は姉一人と妹三人に囲まれた一人長男、その祖父と祖母 幸江(現店主)の間に生まれたのは、長女と次女と三女、つまり三姉妹(次女が僕の母)。
その三姉妹から生まれた5世代目6人のうち、5人が女子という按配です。

6つ下のいとこが産まれたとき、今度もまた女の子だと知った僕は泣き崩れたそうです。
というわけで、山陽堂のレジに男子が立つのは祖父が亡くなって以来30年ぶり。
昔からの常連さんをはじめ、「山陽堂に居る男」を見慣れない方々から珍しがられています。

「あらま、男性だ」
「ここは女の人ばかりなんだけど、今日はどうしたんだい？」
「もしかして、お孫さん？」
「君は誰の子だい？」

などと声をかけてもらったり、何か言いたげな様子で、終始「？」の表情のままお会計を済ませる方がいたり。
先日、昔から来てくださっている男性から電話で注文を受けた際、「それじゃあ、お願いしますね。それで、あの一、最後に、何度も確認してしまつて悪いんだけど、(電話をしている)ここ本当に山陽堂さんなんだよね？」
はい、間違いございません。これからは僕もどうぞよろしく申し上げます。